

【 診療科: 整形外科】
 【 レジメン登録番号: OP-03a 】

〈 ADR療法(24時間持続投与) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																	
			1	2	3	4	5	21											
アドリアシン	30mg/m ²	div	○	○	○															

【1コース期間: 21日】 【総コース数: 術後:2コース、進行・再発:累積投与量上限まで】

【適応癌種: 骨肉腫、非円形細胞の軟部肉腫】

【時期: 術前、術後、手術不能、進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o

<day2-3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソリタT1 200mL	div(2時間で)
Rp.2	デキサート 9.9mg	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	ソルデム3A 1000mL	div(24時間かけて持続)
Rp.4	アドリアシン 30mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 250mL	

<day2,3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム3A 1000mL	div(24時間かけて持続)
Rp.2	デキサート 3.3mg	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	アドリアシン 30mg/m ²	div(24時間で)
	生理食塩水 250mL	

<day4>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソルデム3A 1000mL	div(24時間かけて持続)
Rp.2	デキサート 3.3mg	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	

【参考文献: J Orthop Sci (2009) 14:397-404】
 【備考: アドリアシンは総投与量を420mg/m²以下とする。】
 【変法情報:】

【 診療科:整形外科】
 【 レジメン登録番号:OP-03b 】

〈 ADR療法(1時間投与) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)							
			1	2	3	4	5	21	
アドリアシン	60~75mg/m ²	div	○							

【1コース期間: 21日】 【総コース数: 術後:2コース、進行・再発:累積投与量上限まで】

【適応癌種: 骨肉腫、非円形細胞の軟部肉腫】

【時期: 術前、**術後**、手術不能・**進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
	Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o

〈day2-3〉	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
	Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o

〈day1〉	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
	Rp.1	デキサート 9.9mg	div(15分で)
		5-HT ₃ R Blocker 1A	
		生理食塩水 50mL	
	Rp.2	アドリアシン 60~75mg/m ²	div(1時間で)
		生理食塩水 100mL	

【参考文献: J Orthop Sci (2009) 14:397-404 】
 【備考 : アドリアシンは総投与量を420mg/m²以下とする。 】
 【変法情報: 】